

主要地方道松山空港線 新松山空港道路

主要地方道 松山空港線

AIR FRONT ROAD MATSUYAMA

新松山空港道路



平成9年3月



愛媛県

新松山空港道路の概要

愛媛県の空の玄関である松山空港は、増大する航空輸送需要に対処するため、順次拡張整備が進められてきましたが、県都松山市の市街地から空港に通じる唯一の幹線道路である県道松山空港線は、近年の交通量の増大等に伴い、慢性的な交通渋滞をきたし早期整備が求められてきました。

この解消を図るため、愛媛県では、市中心部と松山空港を、新たに弁天山、岩子山の二本のトンネルで結ぶ、延長4,350m（幅員28m）のバイパス道路として、平成2年度から整備に取り組んで参りました。

この道路の完成により、松山空港はもとより、現在、空港や松山港を中心に整備が進められていますF A Z（輸入促進地域）拠点施設へのアクセス道路として重要な役割を担うとともに、生活や産業を支える幹線道路として、地域の発展に大きく寄与するものと期待されています。

計 画 諸 元

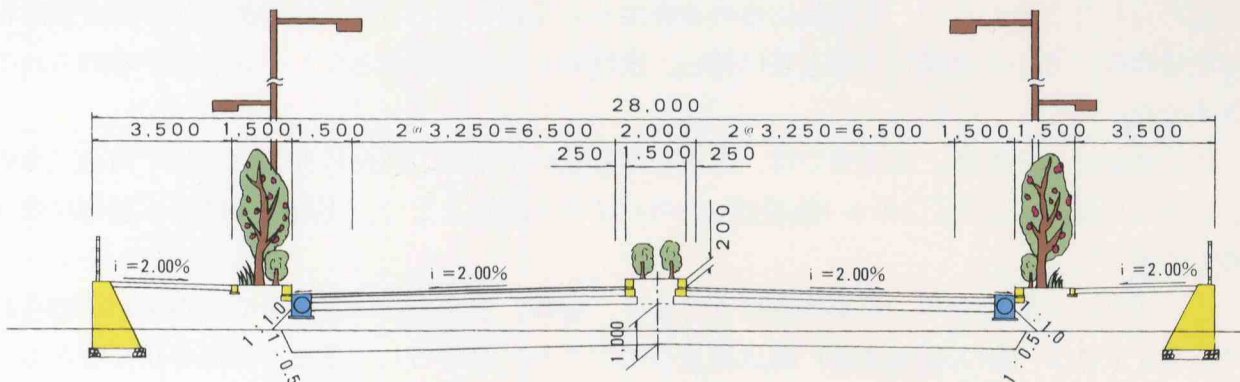
路 線 名	主要地方道 松山空港線
区 間	松山市南吉田町（空港入り口） ～松山市南江戸4丁目（松山環状線）
延 長	4,350 m
幅 員	（一 般 部） 総幅員28m 車道3.25m×4車線 歩道3.5m×両側
	（トンネル部） 車道3.25m×2車線×2本 歩道2.0m×片側×2本
道 路 規 格	第4種1級
設 計 速 度	40km/hr

事 業 の 経 緯

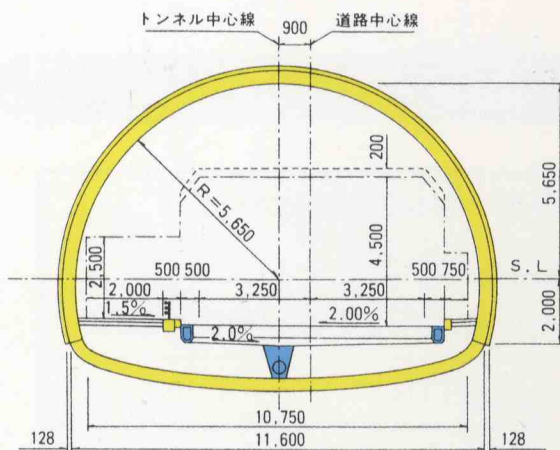
- 平成2年3月 都市計画道路千舟町空港線として計画決定
- 平成2年4月 新松山空港道路整備事業事業化(用地買収に着手)
- 平成4年6月 埋蔵文化財発掘調査に着手
- 平成5年10月 弁天山トンネル工事着工
- 平成6年3月 岩子山トンネル工事着工
- 平成9年3月 完成供用(ただし弁天山トンネルは暫定2車線で供用)

標準断面図

道路部 $S=1:180$



トンネル部 $S=1:200$



弁天山・岩子山トンネルの概要

	弁天山トンネル	岩子山トンネル	
	上り線(市内行き)	上り線(市内行き)	下り線(空港行き)
延長	896 m	348 m	335 m
幅員	6.5(10.75) m 歩道 2.0 m	6.5(10.75) m 歩道 2.0 m	6.5(10.75) m 歩道 2.0 m
曲線半径	(351 m 区間) R=800 m 残り区間直線	R=500 m	直線
縦断勾配	0.331%	0.362%	0.372%
掘削工法	ナトムショート ベンチカット工法	ナトムショート ベンチカット工法	ナトムショート ベンチカット工法



- 植 樹 歩道は高木クロガネモチ、低木ヒラドツツジ、地被類フィリヤブラン、タマスダレ、中央帯はハマヒサカキ
- 道路照明 デザインポールによる連続照明とし、交通信号機、交通規制標識を共架
- 舗 装 車道は排水性舗装、歩道は透水性カラー舗装

空と海と街を結ぶ緑豊かな

「エアフロントロード」

新松山空港道路

延長 4,350m

幅員 28m

金比羅大橋



橋 長 22.2m (形式) プレテンション方式PC単純T桁
有効幅員 28.0m 上部構造 L型橋台 鋼管杭(600mm)中掘工法
荷 重 TL-25 下部構造

横断歩道橋



自転車及び歩行者の安全を確保するため、立体横断歩道橋を4橋設置した。

空港接続部



空港進入は立体交差とし、空の玄関口にふさわしい植樹帯を設置した。



弁天山トンネル
北吉田側坑口(空港側)



トンネル設備



トンネル内は、内装・吸音板と歩道照明を設置し、歩道はカラー舗装をした。
また、トンネル内でもラジオが聴けるようにした。

ポケットパーク



街としてケヤキを植え、ベンチを設けるなどレジャー空間を確保した。



地下歩道



自転車及び歩行者の安全を確保するため、地下歩道を設置した。

せせらぎ水路



道路整備に合わせて、松山市が下水処理水を活用した「せせらぎ水路」を設け、拡がりのある道路空間を形成した。

岩子山トンネル 東側坑口(市内側)

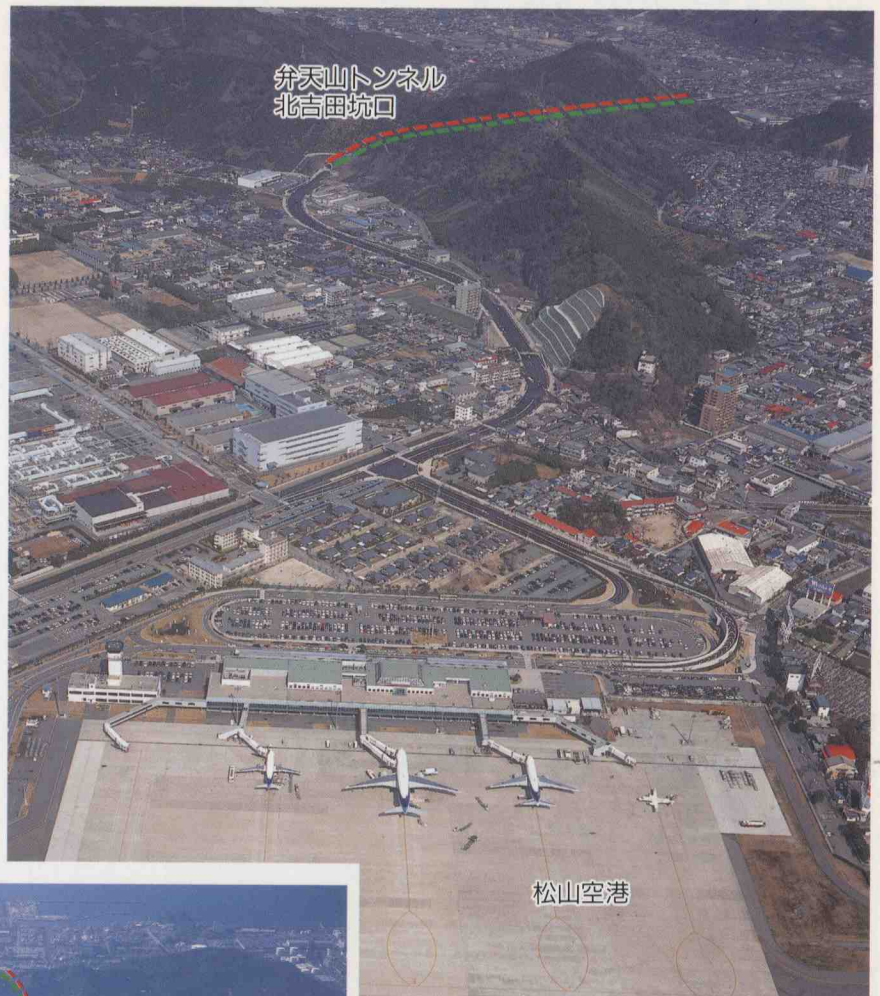


北斎院墓地移転

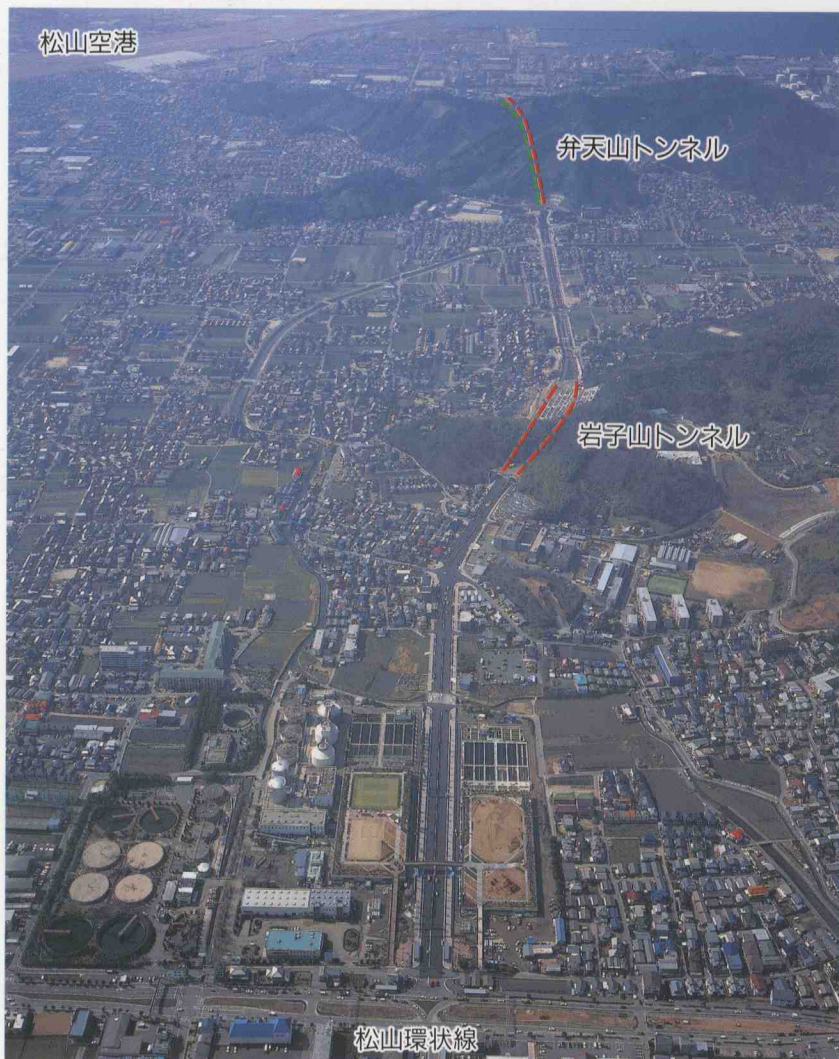


岩子山トンネル建設工事に関連する支障移転
 墳墓所有者数 350名
 区画数 414区画
 墓石数 900基

▼空港側から市内を望む



▼市内側から空港を望む



本事業のお問い合わせ先

愛媛県松山地方局建設部

〒790 松山市北持田町132 TEL (089) 941-1111